

# みやぎ税務会計事務所通信

《 2018年12月 》

MIYAGI  
TAX & ACCOUNTING  
OFFICE

## 税務の話題 & 制度のご紹介

そういえば聞いたことはあるけれど…

### 「つみたてNISA」と「iDeCo」のこと

融資を受ける際の金利は低くて嬉しい！でも、預金利息も“雀の涙”…。  
そんな近頃耳にする「つみたてNISA」と「iDeCo(個人型確定拠出年金)」。  
既に始めている方もいらっしゃると思いますが、今月は2つの制度を見てみましょう！

	つみたてNISA	iDeCo(個人型確定拠出年金)
年齢制限	20歳以上	20歳～59歳
いくらから？	口座を開設する金融機関により異なる (ネット銀行は月数百円から可能な場合も！)	5,000円/月～
いくらまで？	年間40万円 (1月から始める場合は約33,000円/月)	自営業(第1号被保険者):68,000円/月 会社員(第2号被保険者):23,000円/月
税制のメリット	運用益が非課税 (最長20年間)	① 拠出額が全額所得控除(注1) ② 運用益が非課税 ③ <受取時> 公的年金等控除 もしくは 退職所得控除の対象(注2)
引き出しは？	いつでも可能	60歳まで不可

(注1) 所得税額の計算上、収入がなかったものとされるイメージです。 (注2) 受け取り方により、所得税額の計算が変わります。

「少額から毎月“コツコツ”積み立てることによる長期の資産作り」  
似たような2つの制度の比較が、上図です。

国が様々なメリットを用意し、将来のための自助努力を促す制度となっています。  
ただ、それぞれ大きなメリットがある一方で、もちろんデメリットもあります。  
どちらも“投資”の側面がありますので、元本割れすることも考えられますし、  
金融機関等への手数料も発生します。iDeCoについては、預貯金のように  
自由に引き出すことができません。(購入商品(資産配分)を変更することは可能です。)

まもなく新しい年を迎えます。

「難しそう」「面倒…?」「結局よく分からない…」だけではなく、  
この機会に、ご自身に合った資産形成を考えてみてはいかがでしょうか。

※ 手数料や商品など、金融機関により内容には違いがございます。  
ご検討の上、お申込みいただきますよう、お願いいたします。私どもでは、お申込み機関(口座開設)のご紹介はいたしておりません。

① あまり前向きなイメージを受けない「税金」という言葉。  
所得税、法人税、消費税、相続税……と、いろいろな税金の名前を  
聞くとと思いますが、日本には何種類くらいの「税金」があるのでしょうか？

② ついに増税が決定した消費税。  
現在の「8%」から「10%」となりますが、その施行日はいつでしょうか？  
また、同時に軽減税率が適用される予定ですが、その対象品目は？

★新企画★  
みやぎの税金クイズ!

答えは裏面!

